

平成25年8月6日

燈花と芸術の森  
オープニングセレモニーご挨拶

奈良西ロータリークラブ会長 川崎祥記

皆さん今晚は。今年も、この「燈花と芸術の森」の催しを、奈良公園の「なら燈花会」の時季に開催されましたこと、本当におめでとうございます。

さきほどから、木や金属や石や布などいろいろな材料で造られたすてきな作品を鑑賞致しました。どれも皆さんの熱心な創作意欲による作品だなあと感心致しました。

さきほどから、夕立のような雨が降りましたが、降り出したときに屋外の石彫刻の作品とベテランの作家の方のブロンズ像等の作品を鑑賞しました。屋外の石彫刻には、高円高校の生徒の皆さんが熱心にノミやタガネで刻んで作品を作られた跡が見えました。石の彫刻が雨に濡れて色が変わるとまた違った感じの美しさを感じられました。そのような若い皆さんの情熱によって創作された作品に感銘を受けました。

私たち奈良西ロータリークラブは、新世代（若い世代）の方々のために様々な活動を行っております。かねてより、当ロータリークラブのメンバーの杉村さんが、この催しのお世話をしていらっしゃるというご縁がありましてお招き頂きました。当クラブは、これから未来に向けて活躍して行かれます、若い皆さんの活動を支援させて頂く思いから、この作品展が始まりました6年前から応援させて頂いております。この作品展は、なら燈花会に併せて開催される多くの行事のなかでも、とくに文化、芸術の香りの高い行事として毎年行われることによって、高く評価されていると思います。

当ロータリークラブとしましても、このような素晴らしい機会を通じて、若い世代の芸術家がたくさん育って行かれることを念願して、これからも応援して参りたいと思っております。たくさんの方々、皆さんの素晴らしい作品を鑑賞されますことを祈念しまして、私の挨拶とさせていただきます。